

第3回九州 CT 研究会・CT フォーラム開催報告

代表世話人

産業医科大学病院 小川正人

第3回九州 CT 研究会・CT フォーラムを、平成22年5月22日（土）ナースプラザ福岡において、「CT 検査の品質保証に必要な基礎知識 ―物理・画質評価と視覚評価―」のテーマで開催しました。参加人数は280名と第1回、第2回に比べると若干少ないものの内容の難しさから考えると予想以上の参加があり、九州の皆様の熱意が立証されたものと喜ばしく思っている次第です。

放射線機器の急速な進歩のなか、我々放射線技師の行動目標は、「科学的根拠のある検査を実施し、かつ、説明ができること」であり、そのためには造影技術を含む臨床知識、物理・画像評価の知識、線量評価の知識の習得は必須となっています。

特別講演では、金沢大学の市川先生に「CT 画像再構成と画像評価の基礎」を、熊本大学の白石先生には「実践 明日から使える視覚評価」のテーマでご講演戴きました。難しいところもありますが、我々の将来を考えると身につけないといけない知識・技術ですので、これを機に皆様にも是非、習得して頂きたいと思えます。

また、基礎セミナーや一般発表、奨励研究発表では、若い方が精力的に発表され、終日熱気に溢れる研究会が開催されました。本研究会が、今後更に継続的に盛り上がることに期待致します。

なお、平成23年度については、第15回全国 X 線 CT 技術サミットを8月6日（土）に福岡で開催予定のため、九州 CT 研究会はお休み、あるいは、サミットとの合同開催を考えています。いずれにせよ、更なる九州の活性化が期待されますので、多くの方のご参加をお願い致します。

最後に、講師の先生方のご好意により発表スライドを一部掲載させて頂きますが、一般研究発表および奨励研究発表については、今後の研究や論文化を考慮して掲載いたしませんのでご了承ください。